

パイン



倶楽部

第6号 Vol.6 1994.1.

SANDA INTERNATIONAL ASSOCIATION

三田市国際交流協会

〒669-13 三田市三輪2丁目1-1

三田市文化室内

TEL 0795-63-1111

FAX 0795-63-1366

2-1-1, MIWA SANDA

HYOGO 669-13 JAPAN

「『高校生だったらよかったなあ』と思いました(ブルーマウンテンズ市へ行けるから)。(水本さん)」

②コンテストの日までどれくらいの期間練習されましたか?

「大会の題名が発表された日から、大会まで58日間毎日練習しました。(大野さん)」

「テープ審査の前の2日ぐらい。その大会前日にテストがあった

優勝者のインタビューは以下の通り。

①優勝したときのお気持ちは?

「優勝と自分の名前が呼ばれながらも、自分の名前でないような気がしました。信じられないという気持ちとうれしいという気持ちで一杯でした。そして、自分が毎日練習してきた日々のことが頭に浮かび胸が一杯になりました。(大野さん)」

当協会主催の「'93三田市学生英語スピーチコンテスト」が9月5日、中央公民館で開催され、高校生の部で県立北摂三田高3年大野幸子さん、中学生の部で市立狭間中3年水本久美子さんがそれぞれ優勝しました。



'93スピーチコンテスト

優勝者決定!

優勝されました。大野さんは副賞として本年夏、三田市の第一番目の姉妹都市である豪州ブルーマウンテンズ市(ブ市)へ派遣されます。

嘱している中学校英語指導助手のエバン・ジョーンズさんとマイク・マリガンさん、神戸市在住の通訳・翻訳者岡本容子さんの3人。

17審査で選ばれた25人が参加し、約1ヶ月前に通知した課題を暗唱。高校生の部は4人が「家族」か「21世紀の自画像」のテーマに沿って、5分以内で弁論を競いました。

ため、約20日のプランクがあり、あまりやっています。(水本さん)

③どんな練習法をとりましたか?

「まず第一に原稿作りに力を入れ、時間もかけました。原稿作成後は、発音のチェックをA・L・T (Assistent Language Teach

ました。また、鏡の前に立つて自分の動きが滑らかになるよう心掛けました。(水本さん)

「優勝と自分の名前が呼ばれながらも、自分の名前でないような気がしました。信じられないという気持ちとうれしいという気持ちで一杯でした。そして、自分が毎日練習してきた日々のことが頭に浮かび胸が一杯になりました。(大野さん)」

「テープに吹き込んで自分で聴き、さらに英語指導の先生に発音・イントネーションをチェックしてもらい

「速度が速くなりすぎないように注意しました。(水本さん)」

「審査員の方々をはじめ、自分のスピーチを聞いて下さる方々に共感をもってもらえるように原稿を考えました。そして、個性的な経験など自分の意見も

「当日はやはり緊張していたのでベストスピーチができたかどうか自信はないですが、常に練習の成果を発揮できるような努めしました。あとはリラックスすることです。(大野さん)」

「速度が速くなりすぎないように注意しました。(水本さん)」

「審査員の方々をはじめ、自分のスピーチを聞いて下さる方々に共感をもってもらえるように原稿を考えました。そして、個性的な経験など自分の意見も

「当日はやはり緊張していたのでベストスピーチができたかどうか自信はないですが、常に練習の成果を発揮できるような努めしました。あとはリラックスすることです。(大野さん)」

「速度が速くなりすぎないように注意しました。(水本さん)」



▲優勝した大野幸子さん(右)と水本久美子さん(左)

CONTENTS

page

②③ 姉妹提携5周年記念文化交流盛んに!

④ パインほっとインタビュー

⑤ キティタスにさわやかメロディ

⑥ 三田での生活をふり返って

⑦ MIMIのオーストラリア人旅

⑧ 楽しい日常英会話/BOOK/VIDEO/QUIZ/COOKING

主な事業 '93年8月~12月

- 8月 スピーチコンテスト優勝者のブ市派遣
三田まつり出店(売上げをユニセフへ)
三田少年少女合唱団の市郡公演
JESの市郡公演
母子神楽をふるまう会の市郡公演
- 9月 スピーチコンテスト
ブ市文化交流団受け入れ
- 11月 三田市文化使節団ブ市派遣
- 12月 三田国際マスターズマラソン海外選手受け入れ

スピーチに入れるようにしました。(大野さん)

*愛情に乏しい現代の親子関係について、忙しさにまかしてお金を与えて解決しているが、本来一緒に食事をとり、会話を楽しむのが家族の原点なる主旨。

⑥今年の夏のブルーマウンテンズ市への派遣に対して抱負をお聞かせ下さい。

「私にとって初めての外国旅行。それも今一番行きたい国へ行けるのは本当に楽しみです。

お二人とも今後ますます英語に力がきをつけてください。ありがとうございました。

Are you interesting in Australia?

ブルーマウンテンズ市三田駐在員事務所では、特に次のような方々の相談に応じています。

- ☆ 留学希望をする人 ☆ 土地などの投資を考えている人 ☆ Home stay 旅行をしたい人
- ☆ そのほかなんでもお気軽にご相談ください。



お問い合わせは(0795)67-1128 マリガンまで

文化交流盛んに！

団を派遣！！

'93.9.22 ~ 9.29

5年目の約束
ブルー・マウンテンズ市は、オーストラリア・ニューサウスウェールズ州の州都シドニーの西約65kmに位置しており、主な産業は観光・牧畜業で、市域全体が雄大なブルー・マウンテンズ国立公園となつています。87年に、当時のビクター・カーク市長夫妻が来日した際、オーストラリア総領事館などが仲介役と

93年9月23日から29日まで、オーストラリアのブルー・マウンテンズ市（ブ市）から、文化交流団が三田市を訪れました。一行は、ボブ・クラーク市長夫妻をはじめとして総勢56名。学生を中心とした幅広い年代の人々からなり、同市のさまざまな資料も持参、展示されました。



▲生徒達と一緒にフォークダンス（八景中にて）

到着したその日に歓迎パーティが行われ、一行はホストファミリーと対面。一人ずつ名前が呼ばれると、恥ずかしそうに握手を交わしながら、つれづれで歓談の輪のなかへと消えていきました。翌24日からは「ブルー・マウンテンズ資料展」が市民会館で開催され、メンバーが持ち寄った観光パンフレットや工芸品、鉱物などがずらりと並べられました。

**51人が
ホームステイ**

今年、お互いに文化訪問団を組織して交流することが計画されました。提携5周年に当たる今年、お互いに文化訪問団を組織して交流することが計画されました。

ホストファミリーより一言

富士が丘 高木 望さん

60才を過ぎても早足で散歩をし、ビールを好み『折り紙』には悩んだジューン。毎朝、ご飯・味噌汁・日本茶の食事をし、和服を着て、何事にも『Try!』のシャロン。お琴で『さくら、さくら』を弾けるようになったリッシェル。

どれだけ私達の生活に触れ理解できたかは判らない。底ぬけに明るい彼女らは、私達の家族の生活に刺激と強い印象を残して帰っていった。終わってみれば、受け入れ前の心配も消え楽しい一週間であった。

高木さんは、ジューン・マクリンさん(62才)・娘のシャロン・クリニクさん(38才)・孫のリッシェルちゃん(11才)の三世代にわたるご家族と交流されました。

しかし、美しい石に負けず劣らず人目を引いたのは、刈ったそのままの状態で見せられた羊の毛です。『メリノウール』は海外向けに輸出もされている有

まるごと
一頭分の羊

IT'S WORTH
SAVING
WATER



先住民族『アボリジニ』の暮らしを紹介した写真、珍しい魚や動物のボスター、手芸品、ヒスイやアメジストなどの原石、オパール、イヤリングなどが、ブ市鉱物クラブより三田市に送られました。また、水資源の保護を訴えるステッカーも会場に配られ、自然を大切にされているのがわかりました。

名な高級羊毛ですが、毛先の縮れや汚れもそのまま、おしりの部分のカーブの形もそのまままで展示されました。初めて見る本物の羊の毛に「毛糸はもとほこのういう状態なんだね」と集まった人々もびっくり。そして山のようなの毛玉がたったの一頭分と聞いて2度びっくり。「4頭分ぐらいあるかと思つた」触ってみるとあぶらっぽく、「刈ったばかりの羊の毛はとってもオイリーなのよ」と話はずみしました。

ヒール・アンド・トウ・ポルカ

さあ皆さんも
ご一緒に！

滞在中、一行は学校でパフォーマンスを披露してくれました。女の子達は、思い思

日本の学校

今回、一行は北摂三田高校と八景中学校の2校を訪れ、その他にも貴重な日本体験をしました。北摂三田高校では、紺の制服に身をつつんだブ市交換留学生のルイスとリス（本紙6頁に関連記事）が、日本の学校生活をガイド

また八景中学校では、学校給食を体験。その日のメニューは、麦飯に牛乳、塩ゆでの鮭の切り身、シチュー、きゅうりを漬けたもの

●ブ市一行の日程●

- [9/22] 昼頃 大阪空港着
夜 観迎パーティ (市民会館)
- [9/24] ブ市資料展(〜28) (市民会館)
学校訪問(北摂三田高)
- [9/25] ブ市公演 (市民会館)
- [9/26] ホストとのフリーディ
- [9/27] 学校訪問(八景中)
- [9/28] 夜 さよならパーティ (三田サミットホテル)
- [9/29] 東京へ

また会つ日まで

維新を食す。

厳選した角切り「三田肉」と特製「割下」の妙味
龍心亭の牛鍋は、昔ながらの野趣あふれる鍋料理です。

龍心亭
やまのり

株式会社 三田屋 本店
兵庫県三田市武庫が丘7丁目5番

ご予約・お問い合わせ
☎0795-64-5677

夢とやすらぎを求めて。

三田屋 本店
— やすらぎの郷 —

兵庫県三田市武庫が丘7丁目5番 ☎0795-64-4151代

姉妹提携5周年記念

'93.11.15 ~ 11.23

相互に使節

▼表1 交流団メンバー

切り絵	6
詩吟	2
生け花	2
書	1
茶道	3
民謡	6
尺八	1
バレエ	2
ロータリークラブ	2
市議会	1
行政	5
合計	31

▼表2 ブ市での日程表

- [11/15]**
▷大阪空港よりシドニーへ
- [11/16]**
▷朝シドニー到着後、ブ市へ
▷作品展示準備
▷市役所で市長主催の歓迎パーティ
- [11/17]**
▷セント・コロンバス高校訪問
▷ホーム・ビジットⅠ
- [11/18]**
▷ブルーマウンテンズ・グラマースクールで舞台発表、実演
▷ホーム・ビジットⅡ
- [11/19]**
▷市内見学
▷さよならパーティ
- [11/20]**
▷シドニーへ移動

その日の夕方から市役所でクラーク市長主催の歓迎レセプションが始まり、関係者多数が出席されました。5年前の調印式に三田を訪れたなつかしい方の姿も見受けられました。食事の後、隣の議場に場所を移し、それぞれのスピーチの後、クラーク市長から地元

へて歓迎し、生徒達は片言の日本語で礼儀正しく校内を案内してくれました。心からの歓迎が伝わってきて大変すがすがしい気分になさせていただきました。

▼ホームビジットⅠ
昼食は、小グループ



▲歓迎レセプションでクラーク市長より絵の寄贈を受ける塔下市長

忙し。当日は約二百名の観衆が集まり満席状態。展示部門は切り絵、日本画、扇子絵、能

面、書を会場に展示。切り絵の22点と書の作品は姉妹都市委員会に寄付しました。

舞台発表では、尺八、仕舞、民謡、民謡、書道吟、華道吟と進め、最後は全員で「三田小唄」の合唱で会場はひとつとなり、大変盛り上がりしました。

また、実演部門の切り絵、茶道、生け花にも人が群がり大好評でした。お世話になった校長先生をはじめ多くの方々に感謝申しあげます。

▼市内観光
19日はコーチ（バスのこと）に乗り込んでアッパー・ブルーマウンテンズと呼ばれる北西部へ。雄大な渓谷や滝を見ながら目的地の植物園に到着。広大な

▼ホームビジットⅡ
夕食は、再度小グループに分かれてのホームビジット。前回とは違う家庭を訪問しました。それぞれで歓迎を受けたメンバーは夜の更けるのも忘れて思い出づくり励んだのでした。

▼さよならパーティ
夜はコンサベーションハットと呼ばれる見晴らしの良いレストランでさよならパーティ。今回の交流団の成功を祝い、両市の友好の絆が永遠なれと誓いました。この場でも、詩吟と尺八、草笛、バ

文化交流団を派遣

'93年11月15日から23日までブ市との姉妹提携5周年を記念して、「ジャパン三田デー」の開催を大きな目的に、三田市文化交流団の31名が訪問しました。（メンバーは表1参照）

の有名な画家ゲイザ氏が描いた市の鳥クリムゾン・ロゼラの絵をいただきました。

▼学校訪問
2日目は北摂三田高等学校から遠山さんと秋田さんが留学しているセント・コロンバス高校の訪問です。石造りの風格ある校舎が印象的で、森に囲まれた環境抜群のミッションスクールでした。われわれ31名を学校拳

に分かれて1回目のホームビジットをそれぞれが楽しみました。言葉での意志疎通は不完全でもボディアランゲージは成功したようです。手作りの料理も美味でした。

▼ジャパン三田デー
18日はいよいよ「ジャパン三田デー」の開催です。会場となったブルーマウンテンズ・グラマースクールでは数日前から準備に大

また、実演部門の切り絵、茶道、生け花にも人が群がり大好評でした。お世話になった校長先生をはじめ多くの方々に感謝申しあげます。



▲尺八の演奏（舞台発表）



▲観光名所「スリーシスターズ」

YMCA 三田 YMCA

1994年度プログラム 一般受付開始2月3日(木)より

YMCAは、青少年の全人的な成長を願う世界的な青少年団体です

英語を楽しく学びたい方へ

- 成人英会話 初・中・午前・夜間
- 小学生英会話
- 中学生英会話

子供達の健全な育成を願って

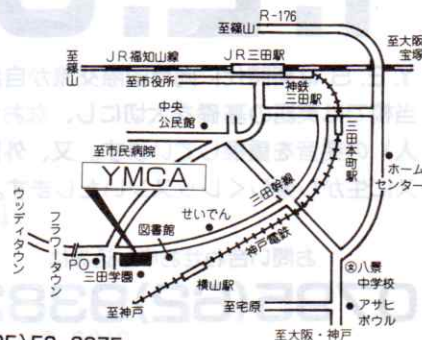
- 幼児プレスクール3才児（1994年4月時点）
- 絵画造形教室 4・5才児（1994年4月時点）
小学校1～3年生
- 野外活動 小学校1～6年生
- サッカー 小学校1～6年生
4・5才児（1994年4月時点）

高校生の目標にむかって

- 高校生科 2月1日より受付開始
（神戸YMCA予備校三田校）
- 高校生ボランティアサークル

お申し込み・お問い合わせは 月～土 10:00～18:00

〒669-13 三田市南ケ丘2丁目14-37（市立図書館西100m） ☎(0795)59-0075



パインほつとインタビュー

ペール・ハラスターさんの巻

今回訪れたのは、フラワータウンの住宅街から少し離れた静かな一画にある、三田北摂ルーテル教会（西山）。扉を開けると、すがすがしい木の香り。木机も美しい、清らかな会堂のたたずまいに見とれてみると、牧師のペール・ハラスターさん（39才）と奥様のシアルスティーンさんが、にこやかに出迎えてくださいました。ちょうど、聖書の勉強を兼ねた英会話クラスが始まるところで、奥様が指導される間、ペールさんに色々とお話を伺いました。

●日本語がとてもお上手ですが、お国は？

「*ノルウェーです。来日したのは11年前で、三田に住んで9年になります。ノルウェーの最南部にあるマントールという小さな町に生まれ育ちました。母は昨年亡くなりましたが、父はとて元気です。今もそこに住んでいます。姉と妹がいて、私は一人息子です。父は会計の仕事をしていましたが、若い頃はスポーツの選手で、私が子供の頃、よく一緒にマラソンしたものです。私自身は学生時代、陸上の選手でした。今も週3回、ウッドタウンの方まで10kmくらい走ります。山登りも大好きで、有馬富士にはよく登ります」（*正式にはノルウェー王国。人口約四百万人。）

●牧師という仕事を選ばれた、何かきっかけのようなものは？

「もともと先生になりたいと思っていました。多くのノルウェー人同様、子供の時に洗礼を受けたので、お国は？」

●ご家族についてお聞かせください。

「妻とは神学校で出会いました。彼女は、あるレベルまで神学を学んだ後、音楽大学へ行き、チェロを学びました。ノルウェーでは、プロのオーケストラに入っていました。子供は3人。上の2人が男の子（11才と9才）で、神戸のノルウェー学校で寮生活をしています。一番下の女の子は北摂第一幼稚園に通っていて、ピアノを習っています。子供達は、日本語とノルウェー語を同じように話しますが、家の中で



▲左がペールさん、右がシアルスティーンさん

違いがあると思います。」「気候、風土もそうですが、生活のテンポの違いを強く感じます。ノルウェーの半分のくらいの人達は、別荘を持っていて、週末は別荘で、のんびりと過ごすことが多いです。例えば、広い土地付きの二百㎡の家なら、千

は、ノルウェー語でしゃべっています。国ではノルウェー語が公用語ですが、小学校から英語を習うので、多くのノルウェー人は英語が話せます」

●ノルウェーと日本とは、色んな点で随分違うと思いますが、冬は、クロスカントリースキーを楽しまます。私は別荘が海の近くのので、よく自分で魚を釣って食べていました。ノルウェーには魚料理が多いんですよ。サバ・タラ・サケをよく食べます。私は鍋物が好きですが、親子丼やおそばも美味しいですね」

●私たちがノルウェーに行くとしたら、どんな所を勧められますか？

「まず、フィヨルドですね。それとノルウェーの北部では、夏の間に一晩中、太陽が沈まない白夜を体験できます。首都オスロにはムンク美術館など多くの博物館があって、バイキング博物館では、当時の船を見ることが出来ます。やはり、自然の美しさを、一番見てもらいたいですね」

●この会堂には、ステンドグラスの他に、墨絵や、聖書の御言葉を書いた書道の作品が飾られています。日本文化・伝統に興味がありますか？

「はい。日本のアートは好きです。それぞれの国に、すばらしい文化や伝統があり、とても興味深いんです。私は牧師としての仕事の他に、伝道団の議長として海外へ出かけることがあります。例えば、ミサの時、オルガンではなく地元の楽器を使っています。昔のよう

に、西欧のものを一方的に持ち込むのではなく、その国にふさわしい伝道のしかたがあるという考えです。妻は、日本の音楽に興味を持っていて、琴を習っています」

●ルーテル教会では、時折、コンサートをするそうですが、そのうち、お琴と洋楽器の合奏も聴けるかもしれませんね！

「そうですね。できるだけ多くの人が参加できる集会にしたいという気持ちはあります。ノルウェーは、キリスト教を土台とした国で、教会は皆のものという考えがあり、コンサートなどがよく開かれます。教会は、文化の中の一つの柱になっていると思います。教会というのは、悩みのある人も無い人も、自由にいつでも来られる所で、本来、キリスト教はとても自由なものなんです。お金こそありませんでしたが、この会堂は、皆さんの気持ちでできたのです。多くの方の寄付やボランティアの人達の奉仕のお蔭で、ようやく完成したのですが、教会員のためだけでなく、地域の人々にとって、できるだけ教会を、ここで作りた

いです。この新しい会堂で、結婚式を挙げていただくのもいいと思います」

●ここは六甲の山並みが望めるし、こんな手作りのぬくもりが伝わってくる教会で、心に残る奉仕ができそうですね。ペールさんは、どんな夢や希望を持っておられるのでしょうか？

「個人的には、幸せに暮らして、人に仕えるという事です。自分のためだけを考えて生活するのは、貧しいなと思います」

●本日は、お忙しいところどうもありがとうございました。*ルーセン・タツケ。父親として、子供達に愛されているという気持ち大切にしたいとおっしゃるハラスターさん。穏やかな語り口の中にも、その信仰の確かさが伝わってきます。誰からも愛される、誠実でさわやかなお人柄。これから、三田の町に、ノルウェーからの愛の灯を、明るくともし続け

てください。*タツケ。*ノルウェー語で、「こんにちは」は「グッド・モーニング」、「ありがとう」は「タツケ」です。（93年9月ご自宅にて取材）

Y.E.S. ENGLISH SCHOOL

Y. E. S. は新時代に向け国際交流が自然にできる人を育てる目的で設立されました。当校では英語の基礎を大切に、なおかつネイティブスピーカー（母国語を英語にする人）の発音を重視しています。又、外国人講師のオープンで明るい性格をそのままクラスに生かし楽しくレッスンいたします。

お問い合わせお申し込みは
0795(62)9383
三田教室
内神教室
フラワータウン教室

生徒募集中

出張グループ
出張レッスン募集中!!

お友達をさそってグループレッスンしませんか!?

ご希望の時間に応じて外国人講師がお伺いします。

キティタスにさわやかメロディ

JES

93年8月23日、米国ワシントン州エレンスバーク市に、「三田市青少年文化交流団」の透き通るようなハーモニイとバイオリンの音が響きました。

この交流団は「三田少年少女合唱団」と「ジュニアアンサンブル三田JES」で結成。

8月20〜27日の日程で渡米し、友好の輪を広げ楽しい思い出と共に無事帰国しました。

渡米の際に、健康管理兼通訳として同行された方が、円山アナナさんです。JESの団長として三田市を中心に活躍なさっています。

今回、お忙しい中をとても心打つ数々のお話を伺いました。

●アナナ先生は、非常に流暢な英語を話されますが、海外在住の経験があまりですか？

「ええ、ニューヨークの病院で研修するため二年間滞在してまして、その後一度大学に戻り、再び研究のため渡米しました」

●アメリカ生活で印象に残ったことはありますか？

「一度、大雪の中で車が動かなくなっ



▲円山アナナさん

まった事があったんです。すると近くの教会から、たくさんの方が出てきて暖かい食物を用意してくれたり、それは助かりました。そういうことが、皆、自然に出来るんですね。歴史的に、ボランティア精神が自然に入っているんでしょう。何かの時の連携といえますか、ネットワークの基盤が、しっかりとあるんです。

今回の親善訪問でも何の気負いもなく自然に多くの方がホームステイを受けてくださった、6月に三田市を訪問したエレンスバーク高校のバンド指導者だったシンディさんが、もうその職を離れて引越すという時だったのに、私達のために色々とお手伝いしてくれました。

●海外公演での交流の面で、何か印象的なことは？

「あちらには子供の合唱団がないんですね。一緒にディズニの歌を歌いませんかと、事前にお話したら、6つの小学校



▲JES(ジュニア・アンサンブル三田)のメンバー

から募って50人あまりの合唱団が出来ていました。

この合唱には、アメリカの方々が大変驚き感動されていました。普段は人種や貧富の差により、社会階層間の交流のない子供達が、初めてそれを越えて同じステージで一つの歌を歌ったことにです。

●「スポーツ」・「音楽」・「子供」、この三つこそが、真に純粋に国際交流できるものなのだと改めて感じました」

●今回、特に苦勞な点という点は？

「そう、過ぎてしまえば思い出せないですね。(笑) 渡米前にレベルの高い演奏でなくては悩んだ方もいましたが、

母子神楽も姉妹校訪問 8/13 ~ 8/17

母子神楽をふるまう会(今北耕司代表、23人)は、かねてから母子小学校と交流のあったキティタス郡のダマシ小学校を訪問し、日本の伝統芸能である神楽を披露しました。



▲ダマシ小学校での熱演

現地では大人以外が初日から4泊5日のホームステイに突入。今北団長以下お世話の大人たちの心配をよ

を伝える手段としての音楽を実感し、一つ成長した姿を見ることができました」

●これからの自身の夢や抱負をお聞かせ下さい。

「個人的には、夢や抱負はたくさんあり過ぎて……(笑)

JESに関して言いますとね。

今回の渡米の際、日本主に報道される口ス暴動や服部君事件で心配される方々もあつたと思いますが、米の都市圏等以外は決して恐れるような所ではありません。私も5年振りの渡米でしたが、暖かい交流ができました。

また、機会があればぜひ、国内国外を問わず親善演奏をしたいです。

●今後の国際交流活動で、アドバイスをお願いします。

「今後ますます姉妹都市との交流が盛んになるとは思いますが、今迄、そしてこれからホームステイ・ボランティアで交流を支えてくださる方が、どうか気負いなく、そしてこちらが何をしあがたいかではなく、相手が何を望んでいるかをナチュラルに疲れない程度にできればと思います」。

これからもJESの方々のバイオリンの音が心の交流の輪を広げていくことでしょう。ありがとございました。

(93年9月、自宅にて取材) TAKAKO



▲みんな仲良くなりました

二十歳。ご成人おめでとうございます。そして、専心塾も創立20年。



21世紀へ向けて、心豊かな生活空間を提言提案していきます。

専心アソシエイツ：カート ワレサー／山下 大成



専心塾

〒669-13 兵庫県三田市中心町16-24 TEL. FAX. 0795-62-2012

昨年3月から三田市で初めての姉妹都市からの高校生2名が、一年間の留学を始めました。オーストラリア・ブルーマウンテンズ市の私立のミッション・スクールであるセント・コロバンス高校の学生です。その交換に北摂三田高等学校から海を渡った遠山紀生子さん（狭間が丘）と秋田聡子さん（富士が丘）も現地で元気にやっておられます。

4名はそれぞれ高校へ正式に編入し、授業を受け、宿泊はホームステイです。オーストラリアの学生が見た日本の学校、日常生活を報告してもらいました。

Our names are Louise Richards and Elizabeth Mifsud. We come from Australia and are living in Japan for one year. We arrived in Sanda in March of this year.

We come from Blue Mountains, which is Sanda's sister city, situated just west of Sydney. The Blue Mountains is famous for its beautiful bushbirds and especially the Three Sisters, Scenic Railway and the Jamison Valley.

There are many reasons why we came to Japan. We both wanted to learn about and experience another culture and way of life. So far we have found many differences between Australian and Japanese lifestyles and have found it interesting to be able to experience both. We are often asked which we prefer, Australia or Japan, but the countries are too different to be compared.

We are 2nd year students at Hokusetsu Sanda Senior High School. Schools in Australia and schools in Japan are very different. Things such as teaching methods and pressure to achieve high marks and attend top schools, being the most noticeable differences. In Australia we often have classroom discussions, group activities and self-motivated work. Japan has a lot more of a formal approach to education and the teacher usually dictates. Japanese students tend to start studying from a lot younger and while Australian students do have major exams, they are not until Senior High School. School Uniforms, regulations and time spent at school also surprised us.

Japanese family life is also different to our family life in Australia. Usually only the Japanese father works, and he often leaves early, arrives home late and spends a lot of time each day commuting to his company. If the mother has a job it is usually only part time. In Australia it is not uncommon for the both the mother and the father to work. Meal time is always together with the whole family as the father does not arrive home as late as in Japan. An Australian house is larger than in Japan, as is the garden, although in Japan the grandparents often live with the family, where as in Australia the grandparents live separately.

Since arriving in Japan we have had the opportunity to taste a wide variety of Japanese dishes. Our favourites include okonomiyaki, udon, sushi, nabemono, tofu, yakimeshi, and soba. We are enjoying very much the opportunities we have, to try food which is new to us.

Another thing we are enjoying is sports, and have taken a liking to sumo, baseball and valleyball, which are not very popular in Australia. We also watch the sumo and have been to the baseball.

During our remaining time here in Sanda, it is our hope that we continue to enjoy our everyday life and develop friendships that will last forever.



浴衣姿でござげんなルイスさん



レストランでのパーティに参加したエリザベスさん

三田での生活をふり返って

エリザベス・ミフサッド

ルイス・リチャーズ

姉妹都市からの留学生

(訳) 私たちは、ルイス・リチャーズとエリザベス・ミフサッドといいます。オーストラリアから来ました。一年間日本で暮らすことになっています。私たちは、昨年の3月に三田に到着しました。

私たちは、シドニーの西に位置する三田市の姉妹都市、ブルーマウンテンズ市出身です。ブルーマウンテンズ市は、美しい鳥々や観光名所スリーシスターズ、シーニック・レイルウェイ、ジャスミン渓谷などで有名なところですよ。

私たちが日本へ来るようになった理由はさまざまです。異国の文化、生活様式を学び、体験したかったからです。そして、実際にオーストラリアと日本の生活様式の違いがわかりましたし、それを体験することに興味を覚えています。私たちはよくオーストラリアと日本のどちらが良いかを考えますが、比べるには違いが大き過ぎると思います。



私たちは、北摂三田高等学校の2年生ですが、オーストラリアの高校とかなり違った点があります。教育方法や良い成績をおさめて良い学校へ進学するプレッシャーは際立った相違点です。オーストラリアでは、討論会やグループ活動、自己啓発をよく行うのです。日本では、教育に対する姿勢がずっと厳格で、授業では大抵(生徒ではなく)先生が主導権を握ります。日本の学生は、学習を大変初期の段階から始める傾向にあります。一方、オーストラリアの学生は高校まで大きな試験はありません。制服、校則、(クラブ活動などで)放課後も学校に残ることもびっくりです。

家庭生活もかなり違います。日本ではおおむね父親だけが働き、朝早く出勤して夜遅く帰宅します。多くの時間を費やして通勤しています。母親がもし仕事を持っているとすると、それは多くの場合パートタイムです。オーストラリアでも共働きは珍しくありませんが、食事の時は、日本のように父親が遅く帰宅することはありませんので、家族全員がそろいます。日本では、おじいちゃん、おばあちゃんが同居しています。オーストラリアの家は日本の家より大きいですし、庭についてもそうであるにもかかわらず、おじいちゃん、おばあちゃんとは別居します。

日本に来てから私たちは、たくさんのバラエティに富んだ料理を試す機会がありました。お好み焼き、うどん、寿司、鍋物、豆腐、焼き飯、そばは大好きです。私たちにとって初めての料理を試すことは大変興味深いことです。

他にスポーツも楽しんでます。相撲、野球、バレーボールはオーストラリアでは珍しく好きになりました。相撲を見たり野球場に行ったこともあります。

残された三田での滞在期間、毎日の生活を楽しみ、永遠に続く友情を育みたいと思います。

国際化に向けて

カラー写真印刷・パッケージ

UNISUGA PRINTING CO., LTD.

ウニスガ印刷株式会社

〒677 兵庫県西脇市和布町39 TEL(0795)22-3226 FAX(0795)23-6229

真珠貝の悲話

たった一人、バックパックをかつぎ、パースの空港に降り立ち、不安と期待の入り混じった中で私の旅はスタートした。まずは、パースでの4ヶ月、色々な事があった。UWA (University of Western Australia) で日本語を教える手伝いをした事、オーストラリア人と家をシェアした事、スリランカ人の家にホームステイさせてもらった事 etc.....

今思うと懐かしさで顔もいつしかほころんでくる。いつか機会があれば、体験談を書きたいものである。

だが今回は、ブルームについて少し紹介したい。きつとこの名前を耳にする方は少ないだろう。パースから北へパースで約33時間の小さな街である。「ここは、かつて世界の真珠養殖の中心地として栄え、20世紀初頭には、多くの日本人が、この真珠養殖にたずさわっていた。しかし第二次大戦では、ダーウィンとともに日本軍の攻撃目標にされ、街は壊滅的な打撃を受けている。街の東のはずれに日本人墓地がある。一八九六年に最初の埋葬が行なわれて以来、真珠採りのため潜水病で亡くなった人々、第二次大戦で亡くなった人々など、この墓地には、七〇七基、九一九名の墓碑がある。誰も手入れする人がいなかった

在では、大地町と姉妹都市の関係を結んでいる」(注1)

「一八八三年、日本人が着いた時、耐え難い暑さに肝をつぶし、着後一週間で海にもぐり真珠貝を採取。彼らは浜の仕事を慣れたが、小舟の生活には慣れなかった。不満を抱き出した。日本でする漁業と違い、昼も夜も海にいては思ってもみなかった。食料がなく、水がなく、なれば雨が降るのを待たねばならぬ。船は、くると夜も沖で錨を下ろす。波が船に流れ込むまで働き続ける。中には、生まれてこのかた船に乗ったことのない者もいる。7割は船酔いし、波があると朝から参ってしまい一日中そのままだ」という状態。まるで海に病人を連れて行く様なものだ。海で病気になる治療を求めるが、雇用者は、おいそれと認めない場合もある。少しでも診断が難しければ、仮病だと責められ病気が関係のない薬を渡し、それ以上何の注意も払われない。病人に出来ることと言えば死を待つのみである。その上、日本人は、英語をほとんど、あるいは全然知らないで不運が更に重なった。なぜなら、会社から為替手形で支払いを受ける場合、日本人は、50%引きで手形を交換した」。(注1) 貧困故、何とかお金を手にし、生活を少しでも楽にしたいと夢の新天地を求めて来たのだらうが、この資料を読む限りでは、生と死の闘いの毎日だった様に思える。



▲白い砂浜が美しいケール・ビーチ

MIMIのオーストラリア人旅

.....ブルーム.....

め一時は、荒れ放題になっていたこの墓地も一八九三年に、笹川氏の寄附によって整備された。今も、ひっそり誰も訪れる人のいないこの墓地で、遠く故郷を想いながら亡くなっていた人々の事を思うと胸がつかまる」。(注1)

ブルームでは、冬のセーターを着ていたのが北へ進むにつれ暑さが増し、ブルームでは、何と40度。真っ赤な土に灼熱地獄の様な大地と、とにかく暑い。だが湿度が少なく、日本とは違い、木陰に入れば涼しく感じるし、汗だくになる事はない.....

が、やはり暑い。ここブルームでは、8月に「SHINJU MATSURI」が行なわれる。その時は、沢山の観光客でにぎわう。この名前でもわかる様に、当時、いかに日本人が多く、そして栄えていたかが伺えるだろう。「当時、ブルームに来た日本人は、貧困との関係が大きかった。この日本人墓地にある約九百の墓石の大部分が和歌山県出身らしい。現

働き続ける。中には、生まれてこのかた船に乗ったことのない者もいる。7割は船酔いし、波があると朝から参ってしまい一日中そのままだ」という状態。まるで海に病人を連れて行く様なものだ。海で病気になる治療を求めるが、雇用者は、おいそれと認めない場合もある。少しでも診断が難しければ、仮病だと責められ病気が関係のない薬を渡し、それ以上何の注意も払われない。病人に出来ることと言えば死を待つのみである。その上、日本人は、英語をほとんど、あるいは全然知らないで不運が更に重なった。なぜなら、会社から為替手形で支払いを受ける場合、日本人は、50%引きで手形を交換した」。(注1) 貧困故、何とかお金を手にし、生活を少しでも楽にしたいと夢の新天地を求めて来たのだらうが、この資料を読む限りでは、生と死の闘いの毎日だった様に思える。

丁度、真珠採りが終わった翌日はブルームに着いた。とにかくフェスティバルの間はどこもいっぱい泊まれないのである。私はラッキーにも泊まったが1日目は床にマットをひいて寝るはめになった。翌朝、地図を片手に散歩に出ると、歩いて2、3分の所に日本人墓地があった。その時は真珠採りの悲話を知らず、そこを通った時、真っ赤な土に、黒御影の墓石がずらりと並んでいるのが目に入り、何とも言えない異様な感じで「ゾクッ」としたのを今でもはっきりと覚えている。(確かに、墓地自体は新しく、整然としていたのだが.....) 今思うと異国の地で、どんなに悔しくても、せない思いをしていたことだろう。時には懐かしく望郷の念かられる事もあったにちがいない。いや、そんな余裕はなかっただろう.....? 今は心から手を合わせずにはいられない!!

▼マジックサンセットブルームで、もう一つ紹介したい所がある。

今回のブルームの記事を書くにあたっての資料として「真珠貝の誘惑」M.A.Barnes著 足立良子訳(株)草書房発行(注1)と「地球の歩き方」ダイヤモンド社(注2)から一部引用させて頂きました。

MIMI (注2)

カルチャーメイト

会員募集中

市文化室では、市文化振興基金協会が主催するコンサート、美術展等を事前にダイレクト・メールでご案内し、前売り券を電話で予約できる「カルチャー・メイト」の会員を募集しております。入会金、会費は無料ですが、チケットの割引制度はございません。優待制度として会員の方には、各地で開かれる美術展等の無料招待券のご案内をしており、お電話で申し込んでいただけます。

ぜひ、「カルチャー・メイト」にお申し込みください。



三田カルタをご存知?

- ① さんのことがよくわかる
- ② ー!と悩まず知識が増える
- ③ だ れでも楽しめる
- ④ か ぞく円満。一家団欒
- ⑤ る いじ品はなし。三田だけ!
- ⑥ た いくつさせません

英語版もあるよ

●お問い合わせは 三田市文化室 ☎59-5022

♡楽しい日常英会話 No.5

今回は短いフレーズでの相づちを覚えましょう。
きっと英語上手だなぁ〜って思われるヨ。

- A: I've been to America.
(私、アメリカに行った事があるの)
- B: Have you? (あら、そう〜)
- A: I went to Kyoto yesterday.
(私、昨日京都に行ってきたの)
- B: Did you? (あら、そうなの)
- A: Lisa is thirty.
(リサは30歳ヨ)
- B: Is she? I thought she was Twenty-five.
(あら、そう〜。彼女は25歳だと思ってた)
- A: It's Lisa's birthday today.
(今日は、リサの誕生日ヨ)
- B: Is it? I thought it was last month.
(あら、ホント〜。私、先月だと思ってた)
- A: I'm so thirsty.
(私、のどがかわいてるの)
- B: Are you? I thought you drank something.
(あら、ほんと? あなた何かのんだと思ってた)

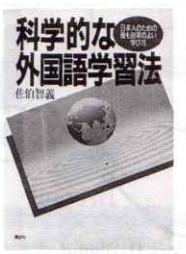
(注)動詞の時制によって変化するので、それに注意してネ!!
try try try!!

外国語をマスターしたいが、なかなかできずに悩んでおられる方、努力不足だと自分を責めていませんか? それも原因の一つでしょうが、それだけではなく、その本では、日本人が語学に弱い理由や、効果的な学習法等が分かりやすく説明されています。勉強中の方だけでなく、教えている方にも、一読の価値がありそうです。

この本では、日本人が語学に弱い理由や、効果的な学習法等が分かりやすく説明されています。勉強中の方だけでなく、教えている方にも、一読の価値がありそうです。

T	O	R	A	N	A	L	V
O	P	J	C	D	S	B	N
Y	G	W	R	A	F	Q	A
O	X	O	Y	T	P	G	S
T	F	B	Z	S	N	A	S
A	M	A	C	U	O	F	I
W	D	O	D	N	V	Q	N
Z	G	Z	S	N	L	Z	A
B	D	E	A	L	O	H	W
P	A	M	L	M	V	H	T

Find the hidden cars
Cross & Down OK. 斜めも逆からもOK
全部で8車名。ガンバってね!!



BOOK



VIDEO

いく内に家庭を省みなかったために離婚したこと、老いてゆく両親から離れようとしていたことに深く反省し、家族の大切さに気付く。ジョンの姿も印象的である。
アメリカ社会が抱える離婚問題、老人問題が家族愛をテーマに感動的に描かれている。ぜひ、見て下さい。
石田純子

COOKING

〈ごぼうのサラダ〉

- 【材料】
ごぼう 1本 (150g)
酢 大さじ1/2
いりごま 大さじ1
マヨネーズ 大さじ2
一味とうがらし 少々
(またはパプリカ)
- 【作り方】
①ごぼうは皮をこそげ、5cm長さの千切りにして、酢水にさらす。
②たっぷりの熱湯でさっと茹でる。
③鍋にAとごぼうを入れ、中火で汁気が少し残る程度まで煮て冷ます。
④ごまは切りごまにする。マヨネーズで③をあえてごまを混ぜ、一味とうがらしまたはパプリカをふってできあがり!!
- 【材料】
出し汁 1/4カップ
砂糖 大さじ1 1/2
酢 1/2
うす口 小さじ1/2
塩 少々

答え purple, blue, silver, brown, red, white, yellow, black, puce, gold, green, orange の12色。
足立 笑子(富士が丘)
鈴木 由美(けやき台)
坂本 直子(三輪)
(敬称略・正解者3名)

8つの車名をハガキに書いて送ってください。抽選でテレホンカードを差し上げます。
【送付先】
〒669-113 三田市三輪2-1-1 三田市文化室まで。締め切りは1月31日必着。

会員募集中!!
ご連絡お待ちしております
パイフちゃん

本会報紙への広告をご希望の方、その他本紙へのご意見、ご質問などありましたら、左記へご連絡ください。
【協会事務局】
三田市文化室内
59-5022

【広告募集中!!】
年会費を納めて頂ければどなたでも入会できます。
▼個人会員 一口1千円
▼団体会員 一口5千円
▼法人会員 一口1万円
(会計年度は4月から翌年3月まで)

語学の才能や特技を生かしたい方、ホームステイでの受け入れを希望される方など、外国人との交流を希望される方はお気軽に入会を!!
【入会方法】
年会費を納めて頂ければどなたでも入会できます。

このように多岐に渡る交流活動を市民の皆様により幅広く、より分かりやすく知っていただくために、広報委員会のメンバーは、去る11月に大手新聞社に見学に行きました。いろいろと有用な知見を得ることができました。さらに躍進する「パイフ俱樂部」に乞うご期待。
広報委員長 山崎宏之
副委員長 藤本みどり
内田裕子/内藤美恵子
西田冬至子/馬場文加
石田純子/本井貴子
事務局 中村忍/仲井浩一/四鬼裕香子

【編集後記】
今回の「パイフ俱樂部」いかがでしたか? '93年度後期は、極めて多彩で双方向な国際交流活動が繰り広げられました。
キティタス郡にて三田少年少女合唱団、ジュニア・アンサンブル三田、母子神楽が公演を行いました。夫未来を担う三田の子供達が立派に国際親善大使の役割を果たしました。
ブルーマウンテンズの文化使節団が来市し、歌と踊りの素晴らしいパフォーマンスを披露してくれました。また本市での「ジャパン三田デー」でも三田の文化を充分にアピールすることができました。

ウッディ音楽教室 (あんだんての会)

個性を生かす個人レッスン

ピアノコース (月謝4,000円より)
電子オルガンコース
声楽コース
フルートコース
ソルフェージュ・楽典 (音大受験)

生徒募集中
出張レッスンもOK

あんだんて<Andante>とは音楽用語で
“あせることなくムリせずのびのびと、
しかし止まることなく着実に…”
このことをモットーとしています。

★ピアノ 調律 特別割引

音楽を通して生活をエンジョイしませんか? (みじかな目標を持ち実力アップ)

☆ママさんボビュラーコース
☆シルバーお楽しみコース

カワイグレードテスト制度
PIARA (日本ピアノグレード認定協会)

【すずかけ台教室】三田市すずかけ台2丁目23-11 (エルムプラザ近く) ■お問い合わせ・お申し込み 0795 (65) 0558
【志手原教室】三田市志手原373 (志手原バス停前) (夜間) (62-4870) 岩崎

内科

放射線科

消化器科

理学診療科

診療時間 (○印)	月	火	水	木	金	土	日・祝日
9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	休
4:30~7:30	○	○	○	休	○	3:00~5:00	休

至福知山 JR三田駅 至大阪
バスターミナル 三田駅 神戸電鉄
三田サウス1-2F

木村クリニック

三田市駅前町9-3 (三田サウス1-そごう2F)
でんわ (0795) 62-7627